

僕と・私と学校のおゆみ

令和5年（2023）、市内のいくつかの小学校が開校150周年を迎えました。これらの学校は、明治5年（1872）の^{がくせいはいっぴ}学制発布を受けて設立されたものです。地域に根差した「学び舎」は、近代教育制度の発展とともに様々な組織・制度の改変を経ながらも、今日まであゆみを続けてきました。

本展示では、長年にわたって多くの子どもたちを見守ってきた^{すぐろ}勝呂小学校の旧校舎を会場として、近代教育の^{れいめいき}黎明期から現代にわたる、学校教育（とくに初等教育）のあゆみをご紹介します。当時の学校で実際に使われてきた教科書や、在りし日の学び舎の姿を写した古写真を、ゆっくりとご覧下さい。



図1）坂戸市立歴史民俗資料館は、勝呂小学校旧校舎を昭和55年（1980）に^{ひきや}曳家で移築して開館しました

てらこや 寺子屋から学校へ

近代的な教育制度が始まる以前、庶民の教育を担ってきたのは寺子屋や私塾といった、知識人による個人的な教育活動でした。坂戸市内では、旧・森戸村の大徳周乗ら親子による「大我井学舎（有道学舎）」が最も有名で、明治期以降も活動を続けています。

近代的な学校制度の本格的なきっかけとなったのは、明治政府による明治5年（1872）の「^{がくせい}学制」の^{はっぷ}発布ですが、実はその前年に「^{ごうがっこう}郷学校」設置の^{ふこく}布告が出されており、各村では事前に準備が進められていました。この郷学校は、寺院を仮校舎として、地域の人材を教師にあてて習字・算術などを子どもに教えたもので、それ以前の寺子屋・私塾の仕組みを利用したものでした。

「学制」の発布による近代教育制度の最大のポイントは^{こくみんかいがく}「国民皆学」を目指したことでした。また同時に、これまでバラバラであった教育の内容についても^{しょうがくきょうそく}「小学教則」によって統一的な基準を定め、教育水準の一定化を^{はか}図りました。

【コレクションでふりかえる 教科書の変遷】



図2) 寺子屋・私塾時代の「四書五経」



図3)
自由採択時代
(明治期前半)
の教科書

今日までの度重なる教育制度の改変に伴って、教科書をめぐる制度やその内容も変わってきました。ここでは、当館の教科書コレクションを通してその変化を追ってみたいと思います。

寺子屋時代には、「四書五経」や「往来物」といった、儒教的な教訓や社会勉強を主とした書物が使用されてきました。それに対して、^{がくせいはいっぱ}学制発布によって生まれた新しい教科書は、海外の書籍を教科書向けに^{ほんやく}翻訳したり、子どもに合わせて表現を工夫したりと、これまでにはない特徴を持っていました。

明治19年（1886）には、教科書への「^{けんてい}検定制

度その後、明治36年（1903）から第二次世界大戦終戦まで採用されていた「^{こくてい}国定制度」は、教科書自体を文部省が作成する制度です。4度の改正がありましたが、国際情勢を受けて改定のたびに軍国主義的な要素が高くなっていきました。戦後、このような教科書は一部を「^{すみぬ}墨塗り」にして使われましたが、「学校教育法」の成立によって、ふたたび検定制が採用されて現在に至ります。



図4) 明治19年以降の検定教科書



図5)
明治36年以降の
国定教科書

坂戸市内小学校の変遷

明治 4 年 郷学校設置の布告

明治 5 年 学制発布

横沼学校

島田学校

赤尾学校

塚越学校

石井学校

坂戸学校

明治 12 年 教育令

明治 13 年 改正教育令

明治 19 年 小学校令

直路学校

勝学校

坂戸学校

明治 22 年
大日本国憲法発布

三芳野学校

坂戸尋常小

勝呂尋常小学校

明治 33 年 小学校令改正

勝呂尋常高等小学校

坂戸尋常高等

日清戦争～ WW 2
軍国主義の台頭

三芳野尋常高等小学校

昭和 16 年 国民学校令

敗戦

三芳野国民学校

勝呂国民学校

坂戸国民学

昭和 22 年 教育基本法・学校教育法

三芳野小学校

勝呂小学校

坂戸小学

高度経済成長期
団地開発の時代

北坂戸小学校

泉小学校

片柳小学校

上谷小学校

桜小学校

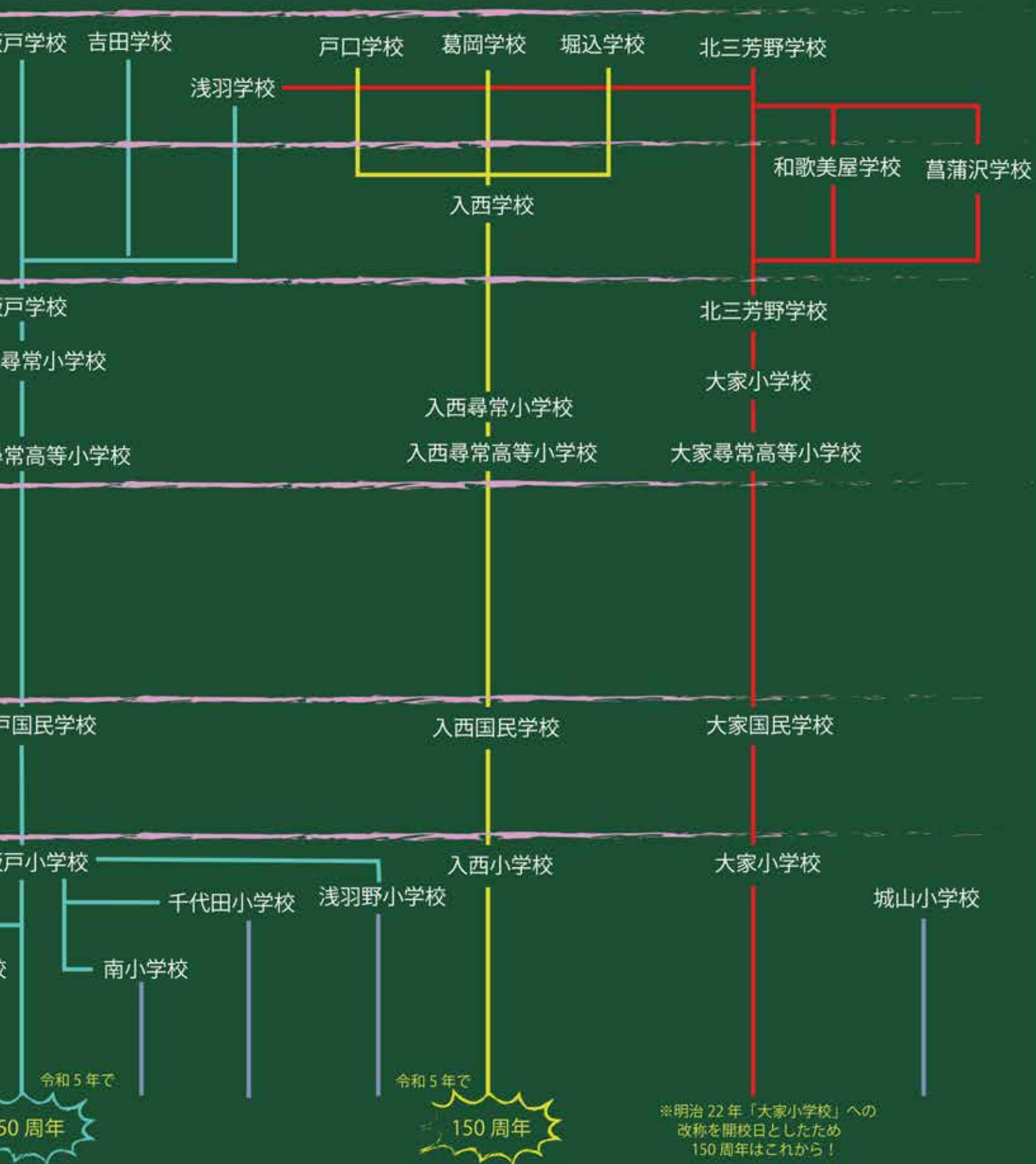
令和 5 年で

150 周年

※昭和 13 年新校舎完成を
開校日としたため
150 周年はこれから！

令和

150 周年



「学び舎」の風景

明治初期に開校した学校の多くは、郷学校時代の仮校舎であった寺社をそのまま使用していましたが、明治20年代に文部省によって『しょうがっこうせつびじゅんそく小学校設備準則』や『がっこうけんちくずせつめいおよびせつけいたいよう学校建築図説明及設計大要』が定められると、標準的な校舎のありかたが定まってきました。

「借り物」の空間であったこれまでとは異なり、新しい校舎は採光を重視した廊下にガラス窓が採用されるなど、学習専用の空間として設計されました。当館所蔵の古写真に残されたかつての学校のすがたを見てみると、校舎に並んだガラス窓に加え、かわらぶ瓦葺きの重厚な屋根も印象的です。当時、まちば町場以外の農村部では瓦葺きを採用していた家庭はまだ少なく、立派な屋根瓦を頂く新校舎は地域の人々にとって誇りであったことでしょう。

当館の建物として利用されているすぐろ勝呂小学校旧校舎（昭和13年建築）は、現在の勝呂地域交流センターの位置にあった明治30年（1897）建築の初代校舎に次ぐ、2代目の校舎とみられます。当時の「学び舎」の雰囲気は今に伝える、県下でも貴重な文化財です。



図6) 古写真

「勝呂尋常高等小学校落成式」
（個人蔵）

写真の一番右端に、現在の資料館の玄関となっている昇降口が写っています。

資料館として移築された部分は、全体の約3分の1程度ですが、校舎全体の雰囲気をよく伝えています。

学校のたからもの

近年、市内各地の小学校から校内で保管していた民具等の資料をご寄贈いただく機会がありました。ここでは、学校教育の現場で守り継がれてきた、地域の歴史を伝える文化財を紹介しています。

なかでも、南小学校で保管されていた「外套」は、地域の歴史的特徴を反映した逸品です。

南小学校が位置する千代田地区は、戦時中には陸軍航空士官学校の分教場である「陸軍航空士官学校坂戸飛行場」の敷地の一部でした。戦後、飛行場の広大な跡地は解放され、現在のような公共施設・工業団地・住宅へと姿を変えていきました。それに伴う地域の人口増加を受け、南小学校は千代田小学校に次いで1980年に開校しました。

この外套について調べた結果、ボタンやタグの特徴から「陸軍士官学校の学生用」であることが分かりました。南小学校の立地からみて、実際に坂戸飛行場の学生が着用していたものである可能性はきわめて高いと言えるでしょう。

このような事例からは、学校が「地域の記憶庫」の役割を果たしていたことが分かります。



図7) 南小学校保管の外套

桜の彫刻が入ったボタンは、一見金属製のように見えますがよく見ると木製です。

小さなボタンが、戦争末期の物資状況を物語ります。

参考文献・HP 等

- 150 周年記念実行委員会 2023『坂戸市立三芳野小学校 開校 150 周年記念誌』
泉小学校開校 20 周年記念事業実行委員会 1997『坂戸市立泉小学校開校 20 周年記念誌』
大家小学校開校百周年記念事業実行委員会 1989『坂戸市立大家小学校開校百周年記念誌』
上谷小学校開校 20 周年記念事業実行委員会記念誌部 2002『坂戸市立上谷小学校
開校 20 周年』
埼玉県平和資料館 1999『戦争と埼玉の地場産業Ⅱ 行田足袋と衣服』
埼玉県平和資料館 2004『昭和前期の子どもたちと戦争—学校と遊び—』
さいたま市立博物館 2008『第 20 回企画展 学校の思い出—教科書・机・ランドセル—』
坂戸市 1995『戦後 50 年記念誌 旧陸軍坂戸飛行場の足跡』
坂戸市教育委員会 1987『坂戸市史 近世史料編Ⅰ』
坂戸市教育委員会 1989『変わりゆく千代田 開拓編』
坂戸市教育委員会 1990『坂戸市史 近代史料編』
坂戸市教育委員会 2000『坂戸市郷土歴史資料第 8 集 諸家文書目録 勝呂』
坂戸小学校創立 150 周年記念事業実行委員会 2023『坂戸市立坂戸小学校創立 150 周
年記念誌』
坂戸市立片柳小学校 30 周年実行委員会 2009『坂戸市立片柳小学校開校 30 周年記念誌』
坂戸市立勝呂小学校 1989『勝呂小学校 開校記念日をむかえて』
坂戸市立千代田小学校 1986『坂戸市立千代田小学校開校 150 周年記念誌』
坂戸市立図書館 1994『郷土の人 大川平三郎』
坂戸市立入西小学校 2023『坂戸市立入西小学校創立 150 周年記念誌』
田中創 祖山智雄 黒岩慶太 大島志津子【編】2010『目で見える 坂戸・鶴ヶ島 100 年』郷
土出版社
戸田市郷土博物館 1999『第 15 回特別展 寺子屋から明治期の学校風景』
長澤悟【監修】パナソニック汐留ミュージアム 青森県立美術館【編】2019『子どものため
の建築と空間展』鹿島出版会
中村紀久二 1992『教科書の社会史—明治維新から敗戦まで—』岩波書店
宮代町郷土資料館 2004『平成 16 年度特別展 わたしたちの学校』
山田泰男 2005『坂戸市に関する資料目録—よい町・よいふるさとに—』
東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ「絵双六」(最終閲覧 2024.10.11)
<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/collection/sugoroku>
東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ「往来物」(最終閲覧 2024.10.11)
<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/collection/orai>

坂戸市立歴史民俗資料館 令和6年度下半期企画展示

「僕と・私と学校のあゆみ」 展示解説リーフレット

【発行日】令和6年10月24日

【発行】坂戸市立歴史民俗資料館

執筆・編集：学芸員 足立 ともと

〒350-0212 埼玉県坂戸市石井 1800-6
TEL 049-284-1052 FAX 049-284-1128